

3-1-1 関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果 (1994年10月から1995年4月まで)

Results of Continuous Observation by Three-Component Strainmeters and IBOSes in Kanto District (from October, 1994 to April, 1995)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

茨城県八郷町及び山梨県甲府市の三成分ひずみ計、及び神奈川県山北町玄倉、平塚市及び真鶴町のIBOSによる最近の観測結果について報告する。これらについては1994年10月までのものが既に報告されている¹⁾。

第1図及び第2図は、八郷1号機及び2号機による、1994年10月分を含めた最近7月間のひずみ変化を表したものである。第3図は甲府による同様のものである。前回と同様に今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D, E2D, E3D及びD1L, SMAXの意味については前々号会報²⁾を参照してほしい。

八郷1号機の12月に見られるE1DやSMAXの跳びは、機器不調による第2隔室の断面積の跳びによるものである。八郷1号、2号機の4月に見られる欠測は電源の問題による。その他については、八郷では今までと同様のほぼ一様な収縮が継続している。これに比較して甲府では、収縮あるいは膨張を不安定に繰り返している。

第4図、第5図及び第6図は、玄倉、平塚及び真鶴のIBOSによるこの7か月間の観測結果である。今までと同じように、降雨の影響が特に玄倉において著しい。平塚の水平方向及び鉛直方向のひずみ変化を観察すると、気圧の変化に応じて山体が三次元的に膨張あるいは収縮していることがわかる。真鶴ではひずみ計が、ほぼ一様かつ他に比して大きな圧縮を受けてきていることがわかる。真鶴の傾斜記録には頻繁にステップ状の変化が現れるが、それらに対応したひずみ変化が見えないので、これらは機器の不具合によるものと思われる。

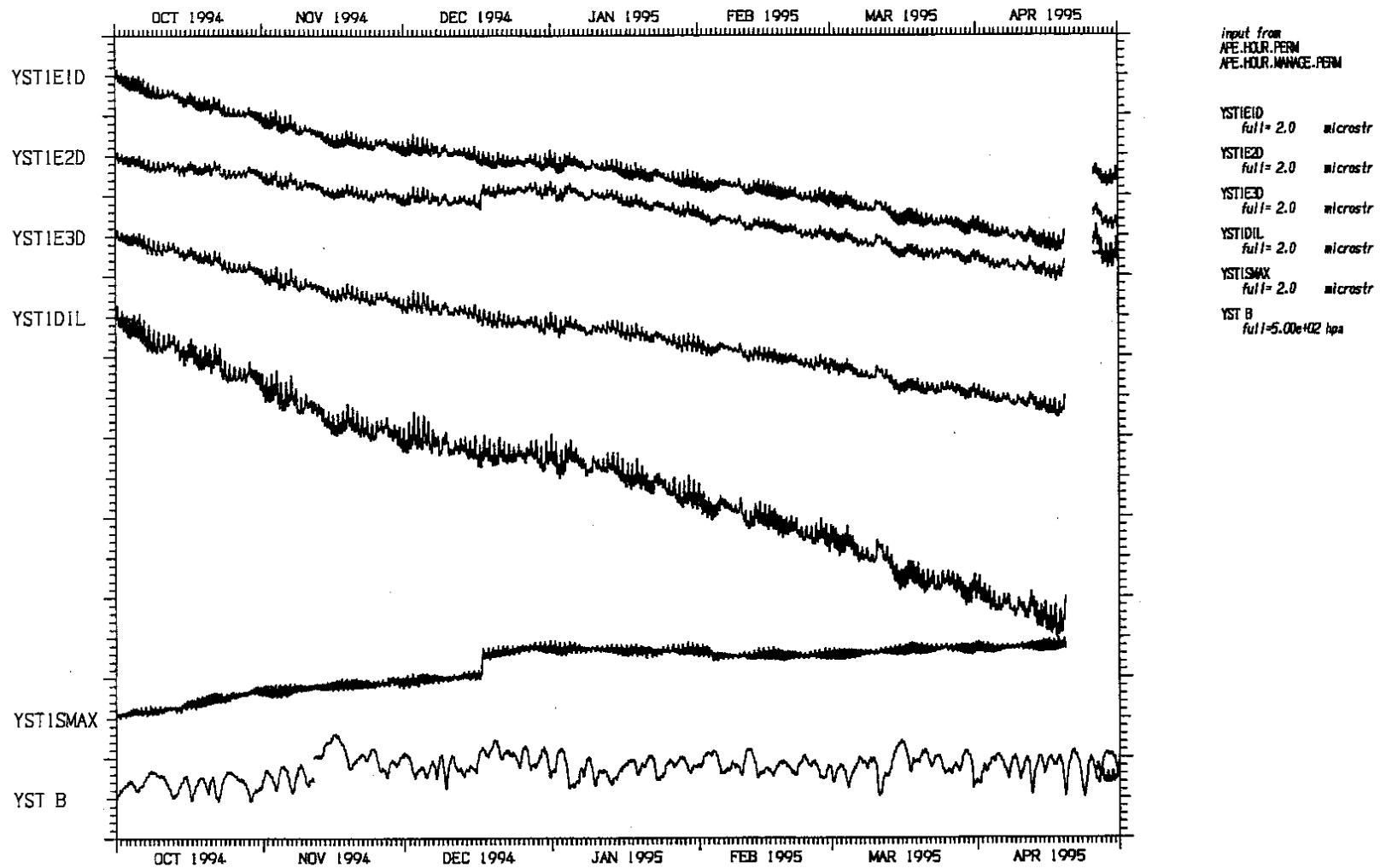
なお、4月18日の駿河湾北部の地震(M4.9)によるひずみステップは、これらのIBOSの分値の記録では認知できなかった。

(坂田正治)

参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果（1994年4月～10月），連絡会報，**53**（1995），303-311.
- 2) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果（1994年3月まで），連絡会報，**52**（1994），199-206.

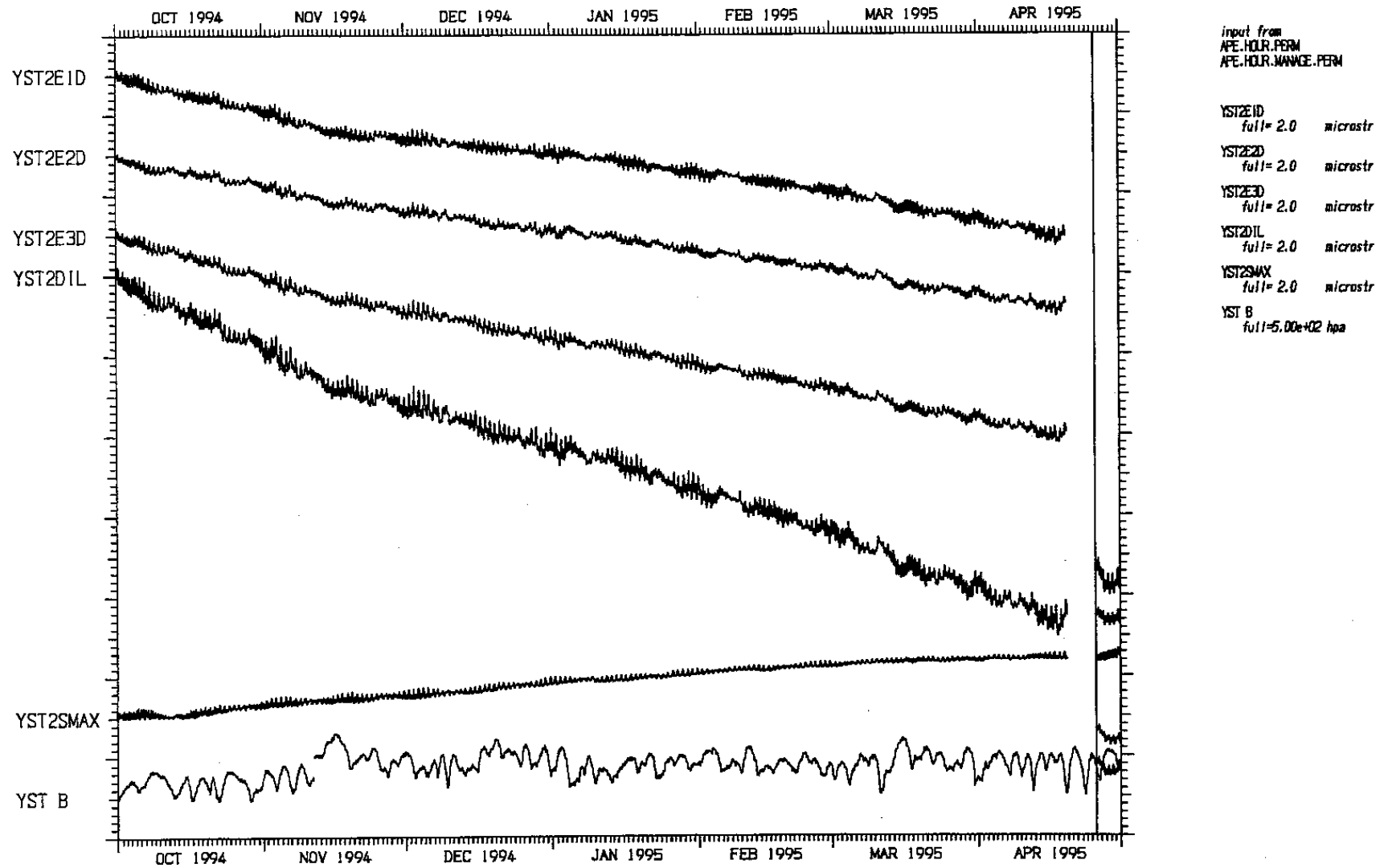
YST1 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第1図 八郷の三成分ひずみ計1号機による連続観測結果 (1994年10月~1995年4月)

Fig. 1 Record of continuous observation by No1 three - component strainmeter at Yasato, E1D, E2D, and E3D: linear strains along N00E, N60E, N120E, DIL: dilatation, SMAX: maximum shear, B: atmospheric pressure.

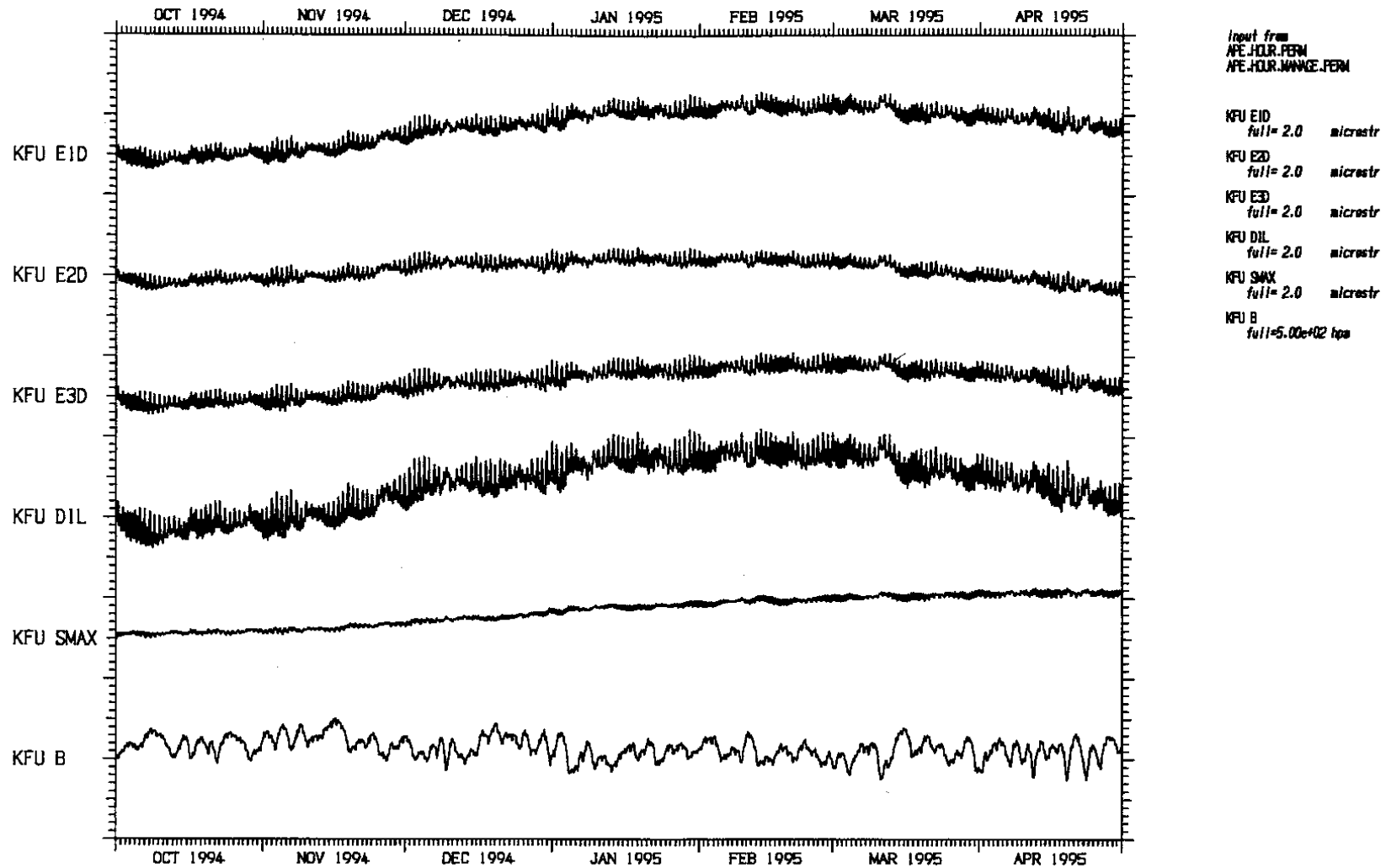
YST2 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第2図 八郷の三成分ひずみ計2号機による連続観測結果 (1994年10月~1995年4月)

Fig.2 Record of continuous observation by No2 three - component strainmeter at Yasato.

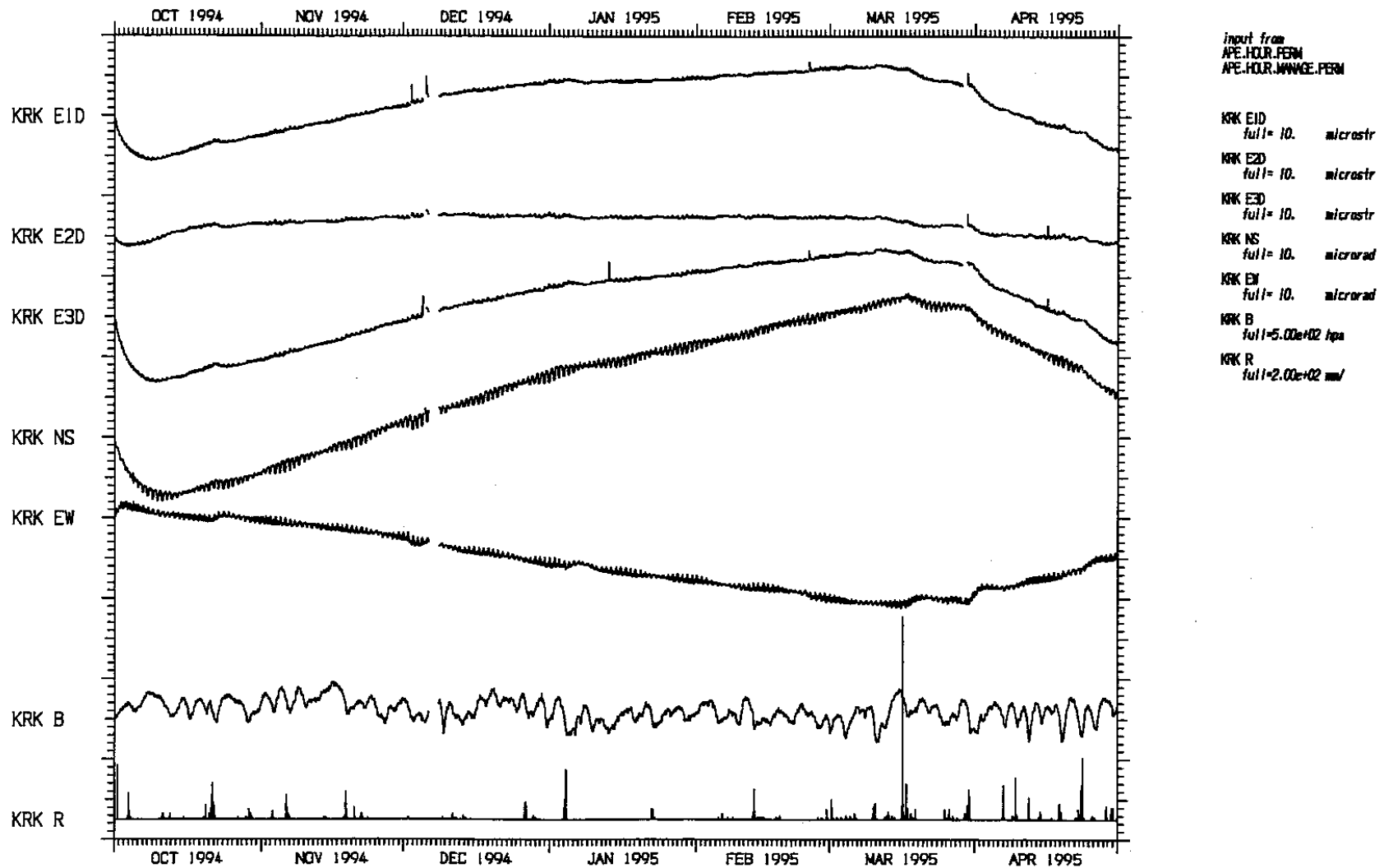
KFU 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第3図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (1994年10月~1995年4月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three - component strainmeter at Kofu.

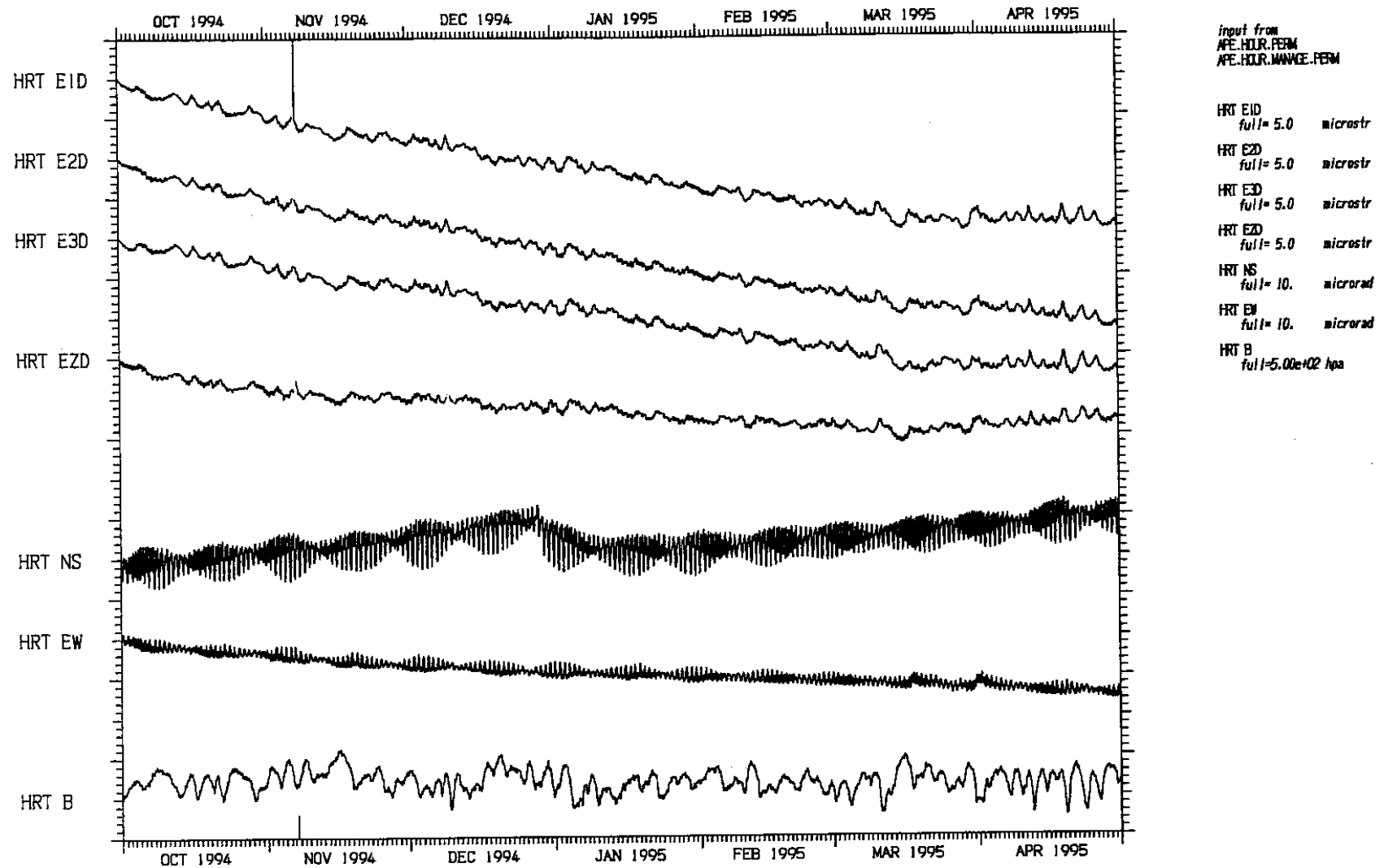
KRK 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果(1994年10月~1995年4月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura, NS, EW : tilt components, R : daily precipitation.

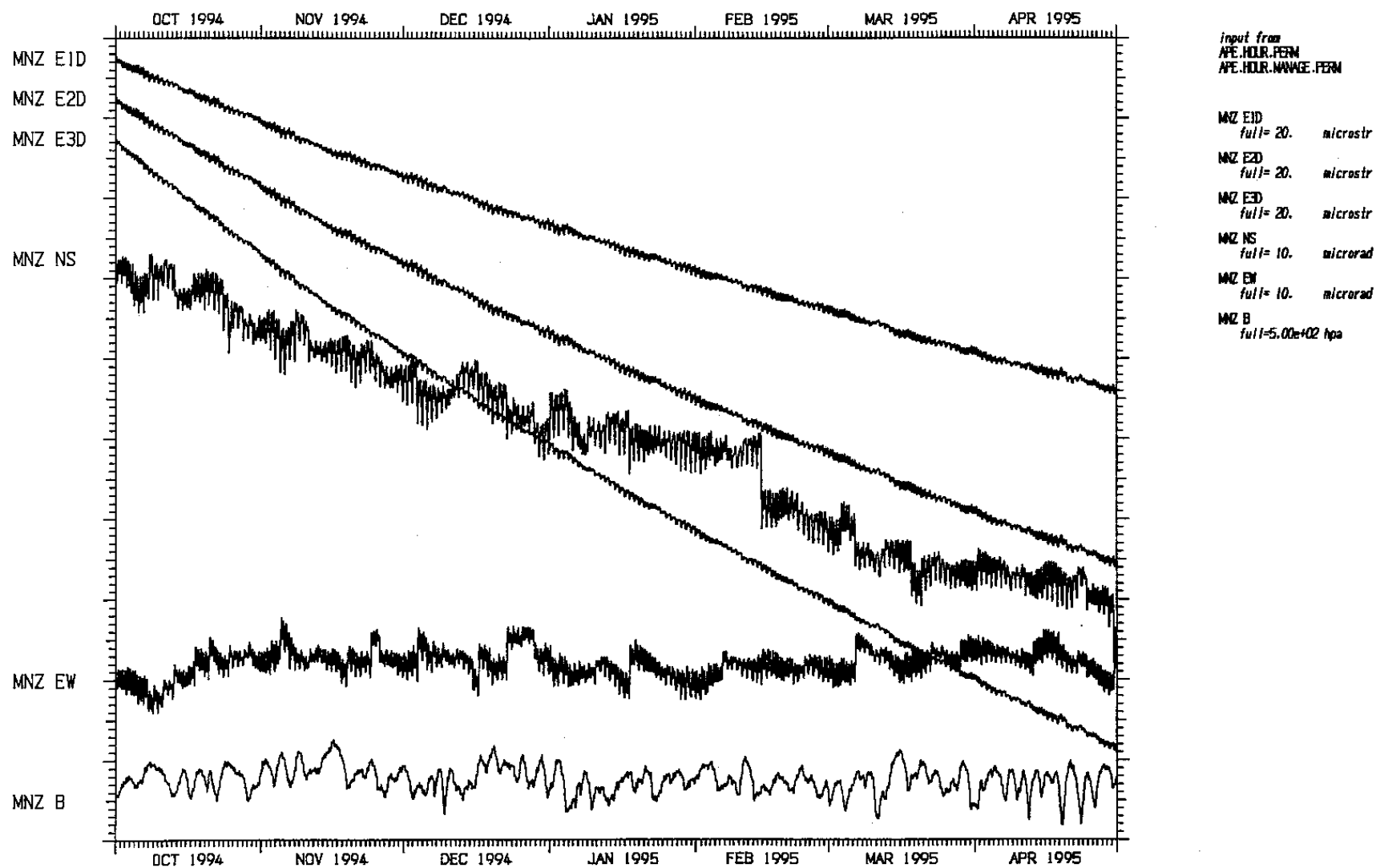
HRT 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第5図 平塚のIBOSによる連続観測結果(1994年10月~1995年4月)

Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka, EZD : vertical strain detected by axial strainmeter.

MNZ 19941001 00 - 19950501 00 HOURLY DATA



第6図 真鶴のIBOSによる連続観測結果(1994年10月~1995年4月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.